



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 8025 URL <https://www.tsukamoto.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 二郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部副本部長 (氏名) 角田 英二 (TEL) 03-3279-1330
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,204	6.2	△214	—	△192	—	△130	—
2025年3月期第1四半期	2,076	△15.1	△258	—	△250	—	△170	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △11百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 387百万円(2.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△32.26	—
2025年3月期第1四半期	△42.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	28,460	13,921	48.9
2025年3月期	28,898	14,054	48.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 13,921百万円 2025年3月期 14,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	6.0	△150	—	△100	—	△70	—	△17.35
通期	10,000	3.3	10	—	50	—	150	—	37.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	4,069,747株	2025年3月期	4,069,747株
2026年3月期1Q	34,550株	2025年3月期	34,502株
2026年3月期1Q	4,035,228株	2025年3月期1Q	4,035,702株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の新たな関税政策の導入や地政学的リスクの長期化、原材料価格の高騰、金利および物価の上昇などにより、先行き不透明な状況が続いております。消費市場におきまして、物価上昇に起因する生活コストの増加等により、消費マインドの低下が進行しています。

このような経済環境下においても、当社グループはユニフォーム事業および健康・生活事業における受注増加により、増収となりました。

厳しい経営環境ではありますが、当社グループは高採算事業へのリソース集中を図るべく、各事業におけるポートフォリオの見直しを断行し、組織体制の強化を通じて事業構造改革の基盤構築に注力しております。今後も、早期に安定した事業基盤を確立し、将来の持続的な成長へとつなげてまいります。

引き続き、当社が培ってきた商人魂とフロンティア精神のもと、伝統を継承しながらも改革を実行し、企業価値の一層の向上を目指してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は2,204百万円（前年同期比6.2%増）、営業損失は214百万円（前年同期は営業損失258百万円）、経常損失は192百万円（前年同期は経常損失250百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は130百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失170百万円）となりました。

<和装事業>

ツカモト市田株式会社の和装事業につきましては、加工の受注やダイレクト販売は堅調に推移しましたが、催事販売の減少を補うには至らず、損益は改善したものの減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は175百万円（前年同期比16.3%減）、セグメント損失（営業損失）は70百万円（前年同期はセグメント損失78百万円）となりました。

<洋装事業>

アパレル事業につきましては、メンズ事業およびレディスOEM事業ともに前年並みに推移いたしました。

ユニフォーム事業につきましては、ユニフォーム商品の新規案件を受注したことにより、大幅な増収となり、黒字へ転換いたしました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,122百万円（前年同期比23.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1百万円（前年同期はセグメント損失38百万円）となりました。

<ホームファニッシング事業>

ホームファニッシング事業につきましては、OEM受注の減少に加え、直営店舗における販売が当初計画を下回ったことにより、大幅な減収となり、営業損失となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は69百万円（前年同期比61.2%減）、セグメント損失（営業損失）は73百万円（前年同期はセグメント利益12百万円）となりました。

<健康・生活事業>

健康・生活事業につきましては、GMSや家電量販店での販売はやや低調に推移したものの、テレビ等の通信販売やECでの販売、サウナ機器の受注が堅調に推移したことにより、増収となり、損益も改善いたしました。

以上の結果、当事業分野の売上高は608百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント損失（営業損失）は161百万円（前年同期はセグメント損失215百万円）となりました。

＜建物の賃貸業＞

建物賃貸業につきましては、テナント状況に大きな変化もなく、売上高は前年並みに推移しましたが、費用が増加したため減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は268百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は146百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間の資産の部は、前連結会計年度末に比べ438百万円減少し28,460百万円となりました。これは流動資産における現金及び預金が623百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が272百万円減少したこと、棚卸資産が213百万円増加したこと及び投資その他の資産における投資有価証券が時価評価により213百万円増加したこと等が主な要因となります

負債の部は、前連結会計年度末に比べ305百万円減少し14,538百万円となりました。これは、流動負債における支払手形及び買掛金が103百万円減少したこと、電子記録債務が287百万円減少したこと及び固定負債における繰延税金負債が66百万円増加したこと等が主な要因となります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ132百万円減少し13,921百万円となりました。これは、株主資本における利益剰余金が251百万円減少したこと、その他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が145百万円増加したこと等が主な要因となります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想としましては、現段階で2025年5月15日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込みにつきまして見直しが必要と判断した場合には、直ちに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,073,674	1,450,444
受取手形及び売掛金	1,447,563	1,174,854
電子記録債権	101,039	77,577
棚卸資産	1,885,586	2,098,910
その他	620,779	633,901
貸倒引当金	△2,556	△2,396
流動資産合計	6,126,087	5,433,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,054,893	2,095,039
土地	10,562,576	10,562,576
その他（純額）	106,866	107,410
有形固定資産合計	12,724,336	12,765,027
無形固定資産		
その他	70,217	66,064
無形固定資産合計	70,217	66,064
投資その他の資産		
投資有価証券	8,066,425	8,279,834
出資金	800,120	800,120
退職給付に係る資産	980,707	982,614
その他	266,496	269,208
貸倒引当金	△135,763	△135,763
投資その他の資産合計	9,977,986	10,196,014
固定資産合計	22,772,540	23,027,105
資産合計	28,898,627	28,460,399
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	885,135	781,258
電子記録債務	964,331	677,025
短期借入金	4,894,768	5,686,768
1年内返済予定の長期借入金	1,950,000	1,300,000
未払法人税等	35,404	16,040
未払消費税等	3,305	17
資産除去債務	3,185	3,185
店舗撤退損失引当金	12,107	12,107
その他	502,392	419,467
流動負債合計	9,250,630	8,895,870
固定負債		
長期借入金	1,087,373	1,074,431
繰延税金負債	3,529,859	3,596,644
再評価に係る繰延税金負債	13,032	13,032
退職給付に係る負債	154,841	157,662
資産除去債務	10,028	10,047
その他	798,081	790,795
固定負債合計	5,593,217	5,642,613
負債合計	14,843,848	14,538,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829,844	2,829,844
資本剰余金	713,177	713,177
利益剰余金	6,362,987	6,111,925
自己株式	△41,493	△41,555
株主資本合計	9,864,517	9,613,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,881,718	4,027,594
繰延ヘッジ損益	163	293
土地再評価差額金	8,780	8,780
退職給付に係る調整累計額	299,600	271,854
その他の包括利益累計額合計	4,190,262	4,308,522
純資産合計	14,054,779	13,921,914
負債純資産合計	28,898,627	28,460,399

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,076,630	2,204,841
売上原価	1,528,944	1,606,378
売上総利益	547,685	598,463
販売費及び一般管理費	806,390	812,777
営業損失(△)	△258,704	△214,314
営業外収益		
受取利息	984	764
受取配当金	33,418	45,698
保険配当金	5,092	5,220
為替差益	—	2,150
その他	1,813	4,994
営業外収益合計	41,308	58,829
営業外費用		
支払利息	25,906	34,334
手形売却損	433	465
為替差損	5,231	—
その他	1,987	1,734
営業外費用合計	33,558	36,533
経常損失(△)	△250,954	△192,018
税金等調整前四半期純損失(△)	△250,954	△192,018
法人税、住民税及び事業税	△80,947	△61,708
法人税等調整額	—	△144
法人税等合計	△80,947	△61,853
四半期純損失(△)	△170,007	△130,165
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△170,007	△130,165
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	578,622	145,875
繰延ヘッジ損益	3,257	130
退職給付に係る調整額	△24,082	△27,746
その他の包括利益合計	557,797	118,260
四半期包括利益	387,790	△11,905
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	387,790	△11,905
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	24,563千円	29,526千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事業	建 物 の 賃 貸 業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	209,179	910,369	165,088	539,711	251,202	2,075,550	1,079	2,076,630
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	4	13,440	77	20,333	33,855	—	33,855
計	209,179	910,374	178,528	539,788	271,535	2,109,406	1,079	2,110,486
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△78,601	△38,048	12,014	△215,953	154,689	△165,899	△14,258	△180,157

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との
差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△165,899
「その他」の区分の損失(△)	△14,258
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△78,546
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△258,704

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事業	建 物 の 賃 貸 業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	175,055	1,122,770	69,269	588,921	247,580	2,203,598	1,242	2,204,841
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	19,981	20,538	40,520	—	40,520
計	175,055	1,122,770	69,269	608,903	268,119	2,244,118	1,242	2,245,361
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△70,479	1,119	△73,548	△161,535	146,801	△157,642	955	△156,686

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との
差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△157,642
「その他」の区分の利益	955
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△57,627
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△214,314

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。